

そして体験する!

2本のラインで操る デュアルラインカイト

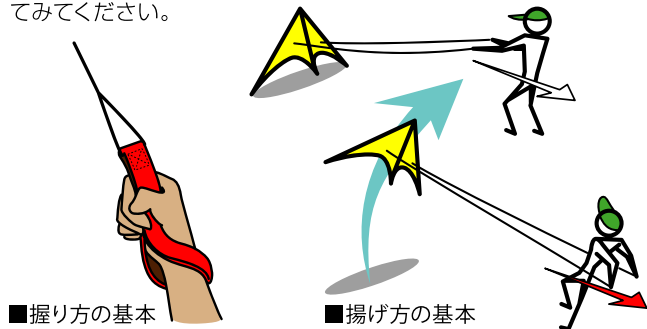
スピード感と爽快感が味わえます
複数機で大空に描く弧や様々な図形は
まるでブルーインパルスの妙技を見ている感覚に捕われます
この機会にぜひ挑戦を!

私たちと一緒にカイトを揚げしてみませんか?
いつでも大歓迎です



2本ラインのカイトを揚げよう! (基本編)

デュアルラインカイトからは2本のラインが伸びています。基本的には皆様が昔揚げた凧とは違い、どこまでも空高く伸びてゆく凧ではありません。決まった長さのラインでカイトをあやつり、様々な動きを楽しむスポーツです。カイトから伸びるラインの手元にはストラップという握りが装着されています。このストラップを強く握り、手前に引くことによりカイトは空へと舞い上がります。また、上空のカイトは、左右の腕を別々に引くことにより、旋回運動を行います。この特性を活かし、大空に弧を描いてみてください。



■握り方の基本

■揚げ方の基本

Kite Field Map

石狩市親船町
「ヤウスバ運動公園」
河川敷



北海道のフライヤーが週末によく集まるフィールドです。
眩しいのでいつもサングラスをかけていて
ちょっと見た目が怖いかもしれませんが、
実はみんな優しいので、どうぞお気軽に声をかけてみてくださいネ。
ホントですから。

ご興味を持った方は
ホームページをご覧ください



全日本スポーツカイト協会
<http://www.ajska.gr.jp/>

+AXEL
<http://www.sam.hi-ho.ne.jp/plus-axel/>

ISHIKARI Field RE-port
<http://from-sapporo.sakura.ne.jp/index.html>

カイトが欲しいと思った方、お気軽にご連絡ください

全日本スポーツカイト協会北海道支部
hokkaidou@ajska.gr.jp



※カイトは風を利用して楽しむスポーツです。初心者のときはスピードコントロールがきかず、周りに人がいたり、物があると思わぬ事故につながる場合があります。大変危険です。広くて電線がなく、下に人がいない事を十分確認した上でフライトする必要があります。ですので、最初は経験者に指導を受けてから始めましょう。

AJSKA ALL JAPAN SPORT KITE ASSOCIATION
Enjoy a wind! <http://www.ajska.gr.jp/>

ジェット機の操縦桿を握る感覚!

DUAL Line

デュアルラインカイト

私たちはスポーツカイト愛好家の団体です。
音楽とカイトのシンクロ技術の向上を目指しています。
本日はご来場ありがとうございました。
どうぞごゆっくりと、
気長~に、美しく飛び舞うカイトの世界をご堪能ください。
なんせ風任せのスポーツですから。

全日本スポーツカイト協会北海道支部
hokkaidou@ajska.gr.jp
ご興味を持った方、お気軽にご連絡ください

風を読む、感じる... そうして空を彩る!

スポーツカイトは大空を舞台に描くパフォーマンスです。



さっそく揚げようデュアルラインカイト

デュアルラインカイトは2本のラインで操ります。ジェット機のように直線飛行が得意ですが、風を抜いたり受けたら、上級者になると機体を裏返したり回したり、フライヤーの操作次第でさまざまな動きやトリックが決まります。デュアルラインカイトの楽しみ方は、風に合わせてセッティングを選ぶこと。自分自身のフライトにこだわって、今のこの風に合うセイル、シャフト、ラインの組み替えを駆使します。安定した強い風、弱い風、強弱を繰り返す荒れた風、高い位置と低い位置の風の違い、そして無風の時でも、さまざまな風を読みながらフライヤーは競技に挑みカイトチューニングと技に磨きをかけていきます。

多人数で揚げるチームフライトへの誘い

単機より複数機、一緒にフライトする仲間が増える程、スポーツカイトの魅力が広がります。上手くいった時には互いに喜び合い、そうでない時には励まし合い、そこから生まれる人間関係。だからこそフィールドに居る仲間たちは仲が良いのです。(サングラス姿が一見怖そうに見えますが...)
世界中で行われているスポーツカイト競技には、アーティストックスイミングの様に、音楽に合わせてカイトをシンクロさせる「チームパレエ」が存在し、日本代表の実力はいつも上位に食い込みます。特に北海道はカイトが盛ん。是非仲間に入りませんか。

ちょっとした豆知識

スポーツカイトの凧は、もともとはアメリカで軍隊の射撃訓練用の標的として開発されました。そんな道具が今ではスポーツとして発展されているのが面白いところですね。

近くで見ると意外とデカイ!

近くで見るとその大きさはかなりのインパクトがあります。でも持ってみるとすっごく軽い! パラシュートと同じ素材で作られているカイトは丈夫で軽くてたまたまコンパクト。

Let's take off!

青空を飛ぶ凧は一本の糸で貴方と繋がっています。

風の強さで糸を引いたり引かれたり、

なんとか操ってやろうと走ったりしても、凧は自由になりません。

「自由に凧を操りたい、そうすればどんなに楽しいことだろうか?」

それを叶えてスポーツ競技として生まれたのがスポーツカイトです。